

# 真野川親水サイクリングロード 利活用推進計画

---

(令和6年度～令和10年度)

2024年（令和6年）1月



南相馬市  
MINAMISOMA

# 目次

<b><u>1 計画策定にあたって</u></b>	…P2
(1) 背景および目的	…P2
(2) 関連計画との関係	…P2
(3) 対象地域	…P3
(4) 計画の期間	…P3
(5) 国、県の自転車関連計画	…P4
(6) 計画のコンセプト	…P6
<b><u>2 現状分析と課題</u></b>	…P7
(1) アンケート調査（南相馬市民向け）	…P7
(2) アンケート調査（地域外サイクリスト向け）	…P11
(3) 実地調査	…P13
(4) 現地試走会	…P14
(5) 現状の整理とコースの特徴	…P18
(6) 課題と対応方針	…P19
(7) 真野川親水サイクリングロードが目指すべきゴール	…P21
<b><u>3 施策の展開</u></b>	…P22
(1) 施策体系	…P22
(2) 施策の概要	…P23
<b><u>4 今後の進め方</u></b>	…P34
(1) スケジュール	…P34
(2) 推進体制	…P34
<b><u>5 参考資料</u></b>	…P35

# 1 計画策定にあたって

## (1) 背景および目的

南相馬市では、平成23年3月の東京電力福島第一原子力発電所事故の影響により失われた市民の一体感を取り戻し、市民が一体となった復興を促進するための取組の一つとして、鹿島区に真野川親水サイクリングロードを整備しました。

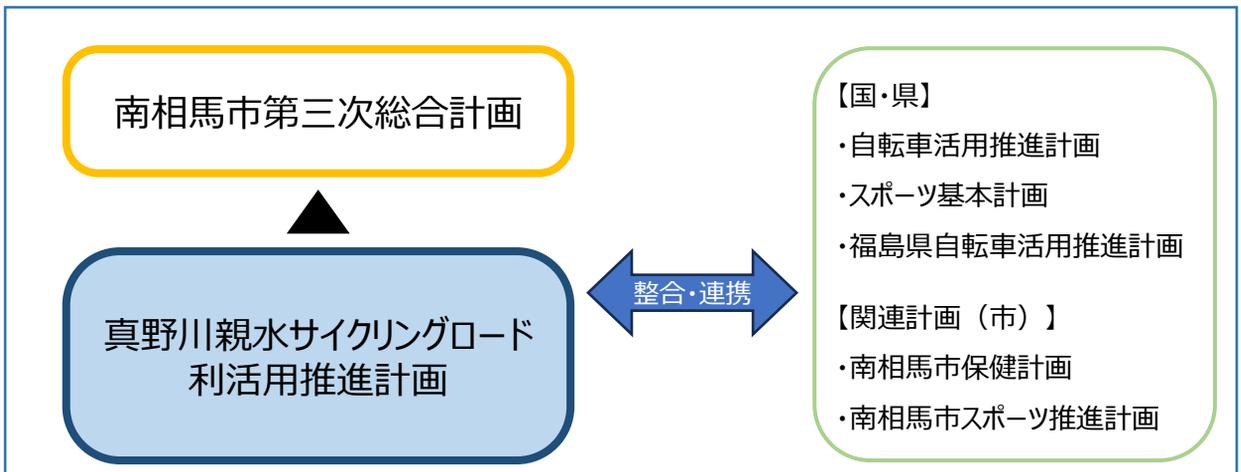
鹿島区には、常磐道の南相馬鹿島サービスエリアに隣接したセデッテかしまや烏崎海浜公園などサイクリングとともに楽しめる商業施設や多彩な景観があります。真野川親水サイクリングロードには、日頃の運動不足の解消や水辺空間での癒しによる気分転換といった市民の新たな健康づくり拠点、サイクリングを通じた交流の創出による市民相互の一体感の醸成、地域資源の有効活用を図りながらサイクリングを通じた街なかへの来訪者の誘導や観光スポットへの誘客による賑わいづくりとしての役割が期待されています。

一方で、これまで真野川親水サイクリングロードを利用したことがない方や自転車は保有しているものの長い間乗っていない方がいることもアンケートから確認されています。健康のため定期的に自転車に乗りたいという理想の頻度と用事がないから乗らないという現実の頻度には大きな開きがあることから、今後改めて自転車に乗るきっかけづくりを行う取組みや真野川親水サイクリングロードの認知度を高める取組みが必要とされているところです。

こういった状況のなか、自転車の活用の推進に関する総合的かつ計画的な推進を図る国の自転車活用推進計画および県の福島県自転車活用推進計画を踏まえ、福島県広域サイクリングルート（※）との連携した走行環境の充実や情報発信を見据えた真野川親水サイクリングロード利活用推進計画を策定し、計画に基づいた各施策の実施を通じて地域住民の健康増進、地域の活性化、交流人口の拡大等に資することを推進します。

※福島県広域サイクリングルート：福島県では、県北・県中・県南・会津・南会津・相双・いわきの県内7地域において、美しい自然環境や豊かな観光資源を生かした「広域サイクリングルート」の設定を進めており、真野川親水サイクリングロードは福島県広域サイクリングルート相双地域の一部を構成しています。

## (2) 関連計画との関係



### (3)対象地域

本計画における対象地域は、真野川親水サイクリングロード及びその周辺区域とします。

※参考：真野川親水サイクリングロード（全路線図）



### (4)計画の期間

本計画の計画期間は、各事業主体における施策の実効性などを踏まえ、2024年（令和6年度）から2028年（令和10年）までの5年間とします。

ただし、社会情勢等の変化を踏まえ、必要に応じて計画の見直しを行うものとします。

## (5)国、県の自転車関連計画

国、県の自転車関連計画にあたる「自転車活用推進計画」及び「福島県自転車活用推進計画」について整理します。

### ■自転車活用推進計画

【A】国（国土交通省）：令和3年5月改定

→国の自転車の活用の推進に関する総合的かつ計画的な推進を図るためのもの

#### 目的

- ・自転車の活用による環境負荷の低減
- ・国民の健康増進
- ・災害時における交通機能の維持
- ・交通における自動車への依存の程度低減

#### 現状の課題

- 【都市環境】 地球温暖化対策/自転車利用環境の整備/移動手段としての定着
- 【国民の健康増進】 健康寿命の延伸/スポーツの楽しさを味わう環境づくり/メンタルヘルスの向上
- 【観光地域づくり】 インバウンド効果の拡大/受入環境整備/宿泊型滞在への移行
- 【安全・安心】 道路利用者全体の安全意識醸成/高齢化社会を踏まえた自転車の普及

#### 目標

自転車活用推進計画の基本理念や課題を踏まえ、以下4つの目標を達成するための施策を定める。

#### ①自転車交通の役割拡大による 良好な都市環境の形成

モビリティの多様化を見据えた公共交通と自転車のベストミックスの実現  
カーボンニュートラルや脱炭素を見据えた自転車利用の促進  
目的に合った自転車を誰もが無理なく安全に利用できる環境の創出

#### ②サイクルスポーツの振興等による 活力ある健康長寿社会の実現

自転車競技や日常生活における自転車利用を含めた生涯スポーツとしての自転車活用を推進することによるQOL向上への寄与  
できるだけ多くの人々がサイクルスポーツを楽しめる機会の創出

#### ③サイクルツーリズムの推進による 観光立国の実現

自転車で地域を巡る体験型・交流型旅行の促進や自転車イベントの開催等を通じた持続可能な観光促進及び地域の活性化  
官民連携によるハード・ソフト両面からのサイクリスト受入環境整備

#### ④自転車事故のない安全で 安心な社会の実現

自転車が軽車両という意識のもと、交通ルールを遵守し、歩行者・自転車・自動車がお互いを尊重しあっている安全で安心な交通環境の創出  
自転車通行空間の整備や交通ルールの周知などによる事故の削減

## ■ 自転車活用推進計画

【B】福島県（道路整備課）：令和5年3月改定

→国の計画を踏まえ、福島県の実情に応じた自転車の推進を図るために制定

### 現状の課題

#### 【利用環境】

自転車利用空間の整備/事故の危険がある箇所の情報不足/路面の適切な維持管理

#### 【健康づくり】

乗るきっかけとなるイベントやスポーツ大会の開催/自転車通勤の促進、そのための環境整備

#### 【観光・地域振興】

地域性を生かしたサイクルツアー等のさらなる盛り上がり/サイクリスト受入環境の整備、情報発信

#### 【安全・安心の確保】

自転車の通行利用ルールの周知徹底や交通安全意識の醸成

小中高生の自転車利用マナーの向上、通学路の安全確保

### 目標

自転車活用推進計画の基本理念や課題を踏まえ、以下4つの目標を達成するための施策を定める。

#### ①誰もが自転車を快適に利用できる良 好な自転車走行環境整備

広域的なサイクリングルート  
の自転車走行空間の整備  
自転車の利便性向上に資する  
情報発信（ポータルサイト）  
ゾーン30プラスによる通過交通の抑制

#### ②サイクルスポーツの振興や自転車の 日常利用による県民の健康増進

自転車を活用した健康づくりに関する  
情報発信  
自転車通勤促進のための広報啓発  
サイクルスポーツに取り組めるイベント等  
の情報提供

#### ③サイクルツーリズムの推進による にぎわいのある観光地域づくり

サイクルツアールートを選定  
サイクリングモデルルートを選定  
サイクリングの拠点となる施設整備の  
推進

#### ④自転車に関する安全意識の 向上による交通の安全・安心の確保

自転車安全利用の推進  
自転車損害賠償保険加入の広報啓発  
通学路交通安全プログラムを活用した安  
全点検及び対策の推進

## (6)計画のコンセプト

真野川親水サイクリングロードの利活用を推進するにあたって、市民や地域外のサイクリスト（※1）が走ってみたいと思うサイクリングロードを目指すにあたり、以下のコンセプトをもとに本計画を策定します。

# まのサイ<sup>(※2)</sup>

## 誰でも楽しく安全に走れるサイクリングロード

A：安心・安全な“まのサイ”

B：“まのサイ”で地域を元気に

C：“まのサイ”をたくさんの人に

※1：サイクリスト＝シティサイクルやスポーツバイクなど自転車の車種を問わず、自転車に乗っている子どもから高齢者まですべての人を指す

※2：まのサイ＝「真野川親水サイクリングロード」の略称、愛称

## 2 現状分析と課題

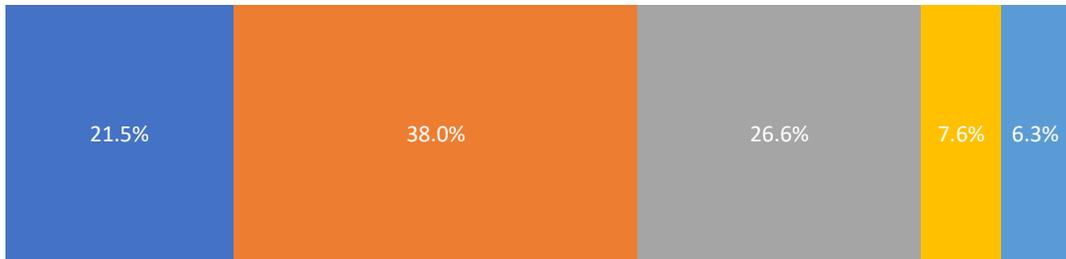
### (1) アンケート調査（南相馬市民向け）

#### ■ 自転車の保有台数

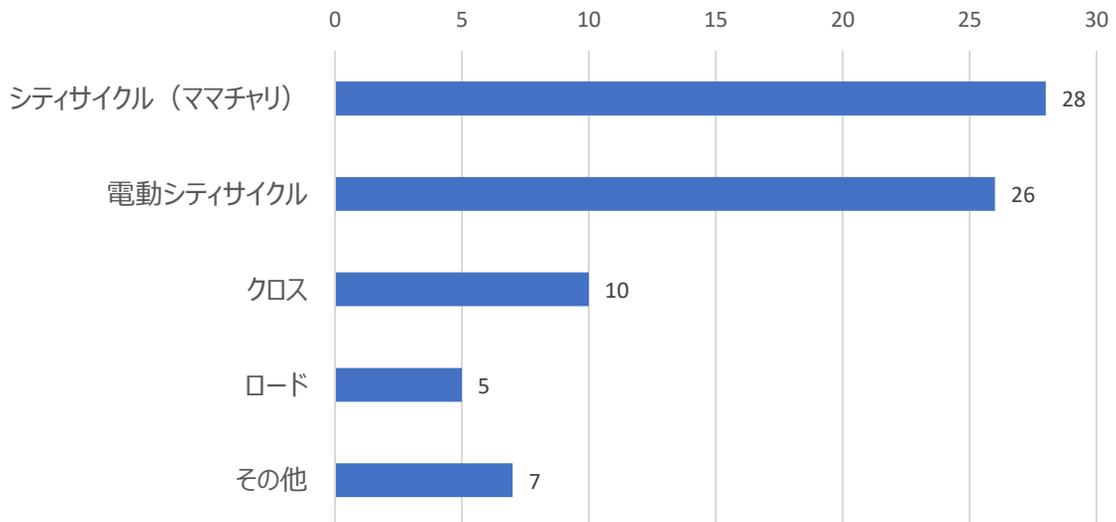
約8割が自転車を所有している。うち、保有している自転車は7割がシティサイクル（電動含む）である。

#### 自転車保有台数

■ 持っていない ■ 1台 ■ 2台 ■ 3台 ■ 4台以上



#### 自転車タイプ<sup>o</sup>



## ■ 自転車の利用頻度/用途

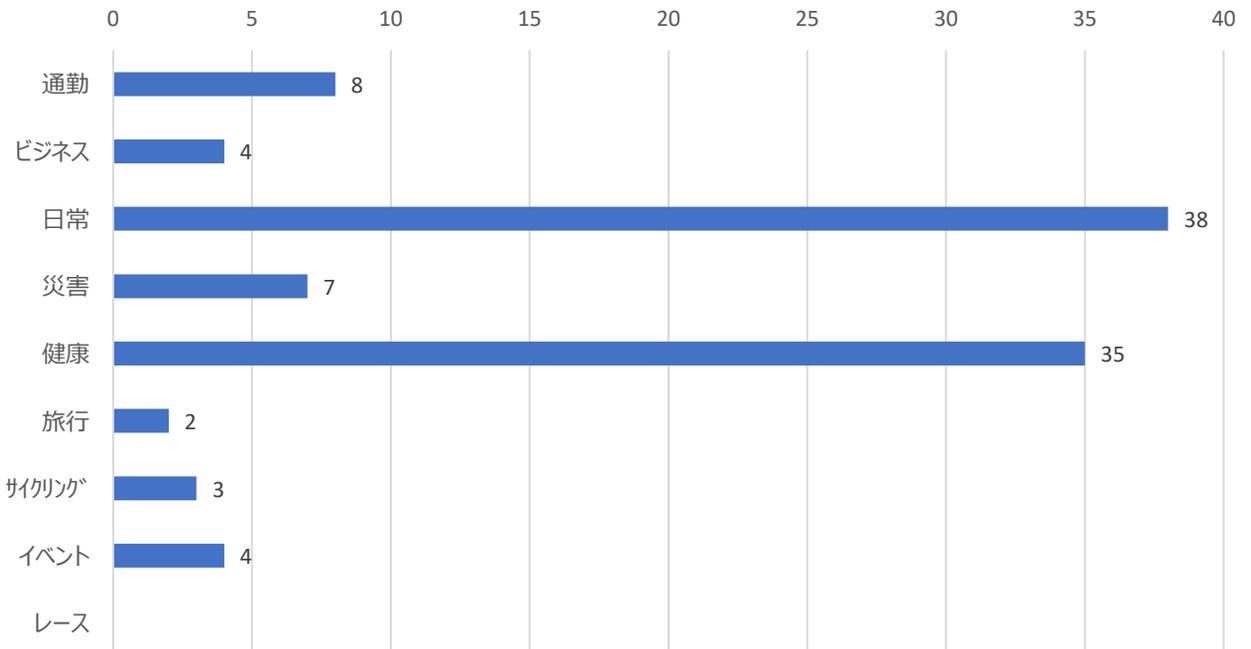
約半数が「過去1年以上自転車に乗っていない」と回答しており、自転車を保有していても走行していないことが明らかとなった。また、利用用途は「日常の移動手段」「健康のため」が全体の7割を占めた。

### 自転車に乗る頻度

■ 毎日 ■ 週4, 5 ■ 週2, 3 ■ 週1 ■ 2, 3週に1回 ■ 月1 ■ 2, 3か月1回 ■ それ未満 ■ 過去1年乗っていない



### 自転車利用用途

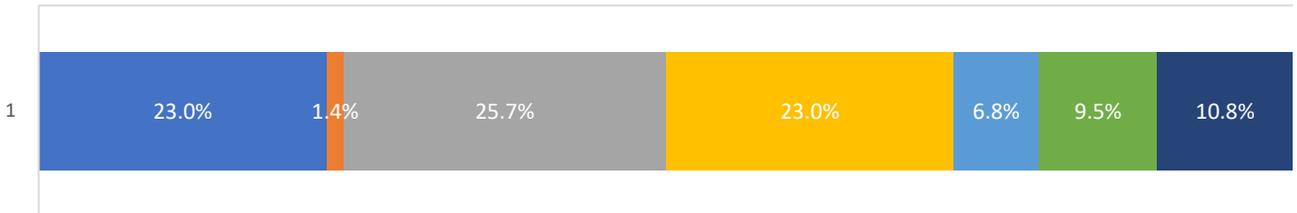


## ■ 自転車利用の障害

自転車に乗る際の障害としては「自転車で行ける距離に用事がない」「交通量が多くて怖い」という回答が多い。

### 自転車利用の障害

■ 持ってない ■ 整備されていない ■ 行ける距離に用事ない ■ 交通量多い、怖い ■ 用事ない ■ ヘルメット面倒 ■ その他



#### 【「その他」意見（一部抜粋）】

- ・車道での自転車道表示がはっきりしないし、歩道へ入ってよいかどうかの乗り入れも分かりにくい
- ・近隣に修理可能な場所が無く、パンクしたときなどが不安
- ・道がガタガタで、自転車のタイヤがパンクしないか不安

## ■ 自転車に乗る理想の頻度

自転車に乗る理想の頻度としては、週に1回以上乗りたいという市民が多く、現実の頻度とは大きな差異があることが明らかになった。

### 自転車に乗る理想の頻度

■ 毎日 ■ 週4, 5 ■ 週2, 3 ■ 週1 ■ 2, 3週に1回 ■ 月1 ■ 2, 3か月1回 ■ それ未満



## ■ 真野川親水サイクリングロードの認知/利用状況

真野川親水サイクリングロードについては約9割の市民が認知しているにもかかわらず、約8割の市民は利用したことがないということが明らかになった。

また、利用用途としては散歩が多く、自転車以外の利用が多いことがわかる。

### 真野川親水サイクリングロードについて

■ 知っている ■ 知らない

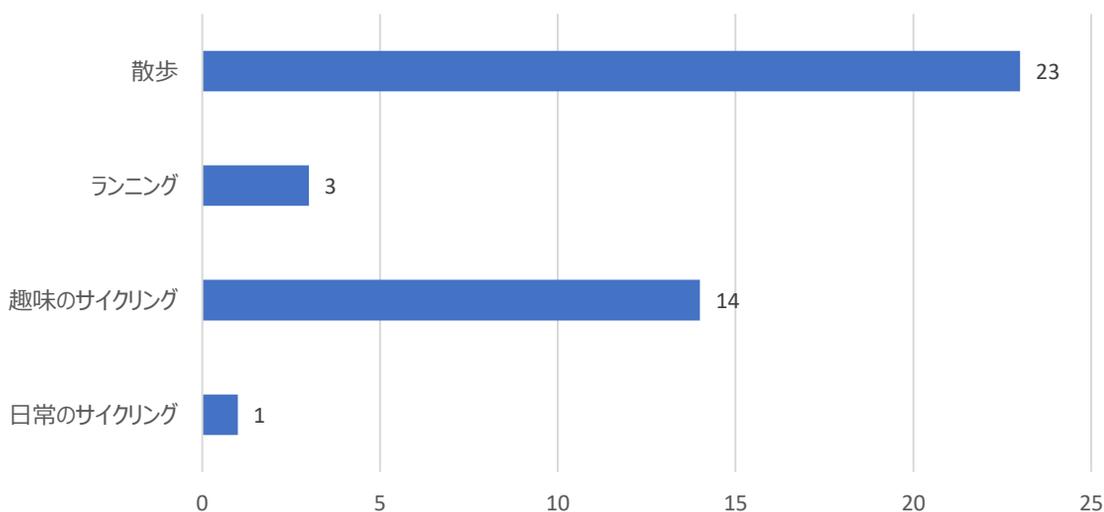


### 真野川親水サイクリングロードの利用頻度

■ 利用なし ■ 毎日 ■ 週4, 5 ■ 週2, 3 ■ 週1 ■ 2, 3週に1回 ■ 月1 ■ 2, 3か月1回 ■ それ未満



### 真野川親水サイクリングロードの利用用途



## (2)アンケート調査（地域外サイクリスト向け）

### ■真野川親水サイクリングの認知/利用状況

真野川親水サイクリングロードについて、約8割が認知しておらず、利用頻度も低い。

### 真野川親水サイクリングロードについて

■知っている ■知らない



### 真野川親水サイクリングロードの利用頻度

■利用なし ■毎日 ■週4, 5 ■週2, 3 ■週1 ■2, 3週に1回 ■月1 ■2, 3か月1回 ■それ未満



## ■ 真野川親水サイクリングの走行意向

真野川親水サイクリングロードについて、マップとともに走行意向を調査したところ、約半々の結果となった。

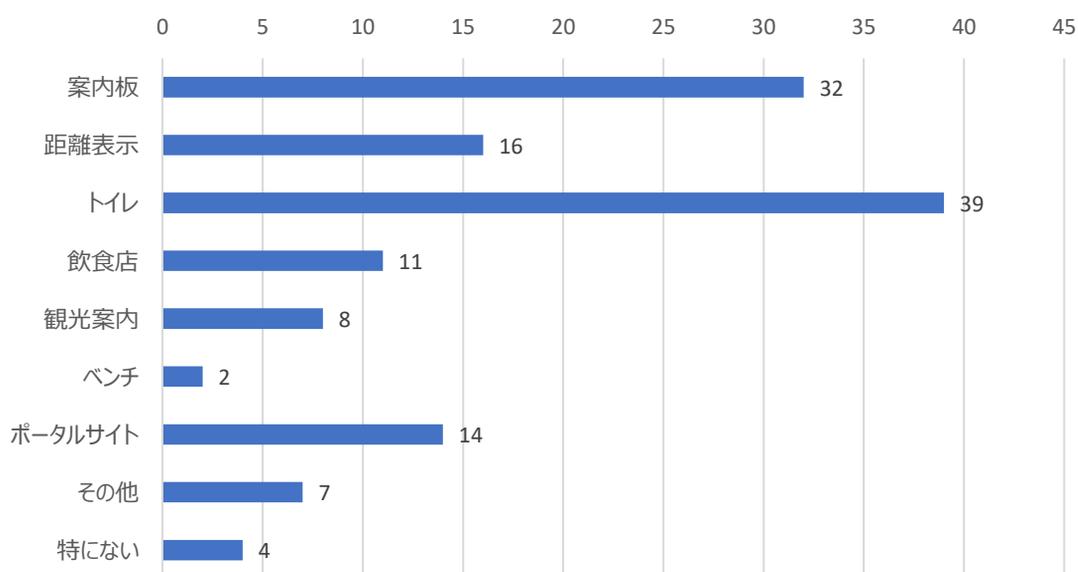
### 真野川親水サイクリングロードの走行意向



## ■ サイクリングロードに求める設備

サイクリングロードに求める設備としては、「トイレ」「案内看板」の充実が多い。

### 自転車専用道路に求めるもの



### (3) 実地調査

真野川親水サイクリングロードの現地調査を行い、危険箇所の抽出を行いました。

※調査者：一般社団法人ルーツ・スポーツ・ジャパン

場所	改善点
共通	<ul style="list-style-type: none"> <li>・案内看板が小さく、視認性が低い</li> <li>・案内看板の設置位置が走行中に見えにくい位置にある</li> <li>・矢羽根の設置が必要である</li> </ul>
一般道部分	<ul style="list-style-type: none"> <li>・路側帯が狭いエリアもあるので、自転車と車の双方への注意喚起が必要である</li> <li>・見通しが良すぎるがゆえに、車が速度を出してくる箇所もあるため、車側への注意喚起が必要である</li> <li>・セツテカしま付近の坂について、下りの際に速度が出すぎるのを抑制する案内看板が必要である</li> </ul>
河川敷部分	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一般道と横断する部分について、一時停止を促す案内看板が必要である</li> <li>・ロード沿いに雑草等が生えているため、特に夏季は定期的な整備が必要である</li> <li>・あくまで歩行者が優先であるため、その案内をする看板が必要である</li> </ul>

※詳細については、巻末の「参考資料（6）」を参照

## (4)現地試走会

南相馬市役所や福島県の関係機関の職員、観光協会や地元サイクリスト等で真野川親水サイクリングロードの試走会を行った。

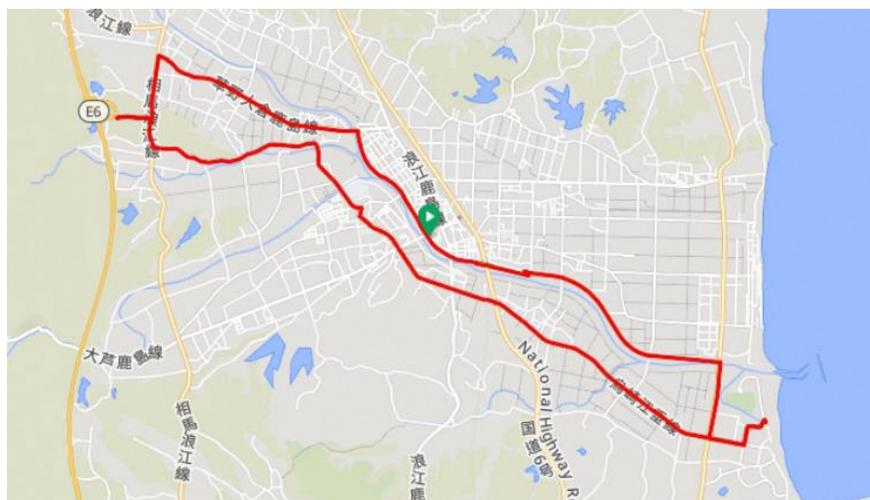
### ■概要

5～6人のグループ（E-bike組・ロードバイク組）に分かれ、真野川親水サイクリングロードの試走を行った。

### ■目的

- ・実際にサイクリングを体験する機会を設けることで、サイクリングそのものの楽しさを知ってもらう機会を創出するため。
- ・また、あえて一般道を走行することで普段運転している自動車と異なる立場でのサイクリングを体験してもらうため。
- ・実際に本事業のフィールドである真野川親水サイクリングロードをサイクリストの目線から体験してもらうことで、率直なフィードバックを獲得するため。

### ■コース



#### ■立ち寄りスポット

- ①スタート：鹿島区役所  
↓（6.2km）
- ②鳥崎海浜公園  
↓（10.1km）
- ③セデッテかしま  
↓（5.3km）
- ④ゴール：鹿島区役所

### ■当日の様子



試走会後に、アンケート調査及び意見交換会を行った。意見は以下のとおり。

### ▼実際に走ってみて感じたこと

○良かった点

- ・距離は程よい。E-bikeなら自転車初心者でも問題なく走行できる
- ・走りやすかった
- ・交通量も少なく安心して走行することができた
- ・海・山・川・田んぼを一望することができてきれいだった

○悪かった点

- ・標識が分かりづらい
- ・草の手入れができていないため、からまないか心配になった
- ・車が来た際は特に注意して走行が必要で、一部接近する場面があった
- ・路面の一部に凸凹があり少し走りづらく感じた
- ・サイクリングロード内で、歩行者、一部車両への注意が必要になるため、専用道路であれば安心して走れると感じた

サイクリングロードと一般道に差異は感じたか

- ・サイクリングロードのほうが走りやすいと感じた。一般道は一部凸凹がある
- ・一般道で車とすれ違う時（特に大型トラック）は怖く感じる

今回立ち寄ったスポット（烏崎海浜公園、セデッテかしま）以外に、どのようなスポットがあるか  
と思うか

- ・トイレ休憩や水分補給のできるようなベンチのある公園
- ・風車や遠くに山が見えるなどの映えスポット
- ・片手で食べられるようなスイーツを扱うお店
- ・烏崎海浜公園内への自動販売機の設置
- ・セデッテかしま内など自転車で走行した後にシャワー等浴びられる施設
- ・「自転車の駅（サイクルステーション）」

アンケート結果や、現地調査の結果と同様に「標識が分かりにくい」といった課題が明らかとなった。

### ▼走行体験を踏まえて、今後について感じること

#### ▼市民のサイクリングロード利活用のために必要だと感じるファシリティコンテンツ

- ・**見やすい標識（詳細なマップ）**
- ・**レンタサイクルのできる場所**
- ・休憩・食事・宿泊のできる場所や映えスポット
- ・サイクリングイベント

#### ▼サイクリングロードの外部からの受け入れに必要だと思うもの

##### ハード面

- ・**ルート上の案内板**
- ・**乗り捨て可能なレンタサイクル**
- ・サイクルラック
- ・お手洗いの充実
- ・自家用車で自転車で持ってこられるような駐車場
- ・沿岸部の休憩所

##### ソフト面

- ・**サイクリングロードの周知ができるようなSNSでの発信や、行政からの地域内への呼びかけ**
- ・地元のサイクリスト受け入れ体制
- ・走行するだけでなく、市内の観光地などに立ち寄ってもらえる体制
- ・**行政だけでなく、民間も巻き込んだ施策**

実際に参加者がサイクリストの目線となって体験してもらうことで、上記の内容を充実させていくことが重要であると明らかとなった。

## ▼日頃の自転車の利用状況について

### 南相馬市内で自転車を活用する際に感じるハードル

- ・高校までは自転車に乗る機会もあるが、**免許を取得すると車主体になる**
- ・**修理をしてくれる自転車店が少ない**
- ・**サイクリング文化が市全体に浸透していない**
- ・鹿島の町中に関しては、道路の幅も広いわけではないため交通量を考えると少し危険に感じる
- ・自転車専用道路がないため、長い距離を走れる道路やレンタサイクルの充実

### 自転車を積極的に使用するシチュエーション

- ・週末のストレス解消や、健康増進のため
- ・車で移動するまでもない距離の買い物
- ・通勤・通学
- ・仲間とのコミュニケーション
- ・サイクリングイベントやスタンプラリーなど（例：桜を見る会等）

### 自転車の使用に適さないと感じるシチュエーション

- ・雨天時や大雨で冠水した後、真夏や真冬時など
- ・車のほうが便利な長距離走行
- ・交通量の多い国道や、住宅地内

## ▼試走会に参加してみた

- ・自転車に乗ったのは高校生ぶりであり、乗り方を覚えているか不安であったが、サイクリングガイドがついていたので安心して楽しく乗ることができた。
- ・自転車で街を巡ると、普段車から見ている景色とは別のものを感じた。見慣れている何気ない景色が違うものに見える。
- ・E-bikeを使うことで最初は「長いかな？走りきれるか不安だな」と感じていた20kmの距離も楽しく走ることができた。
- ・シンプルに自転車の楽しさを感じることができた。このような機会がないと、得ることができない楽しみであったので、継続的に実施してほしい。

試走会で実際にサイクリングを体験してもらうことで参加者の方が自転車の魅力について、感じる事が出来る機会となった。

市民に向けても同様のことが考えられるため、自転車とふれあうためのきっかけを作り、自転車の楽しさを体験できる機会を継続的に設けていくことが重要であると考えられます。

## (5)現状の整理とコースの特徴

真野川親水サイクリングロードおよび自転車の利用状況については、アンケートや現地調査、試走会での意見等を踏まえて、以下のようにまとめられます。

項目	現状
利用環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地元の方の真野川親水サイクリングロード認知度は9割ほどであるが、利用経験は半分に満たず、知っているけど利用したことがない方が多い</li> <li>・地域外のサイクリストの真野川親水サイクリングロード認知度は低く、認知していてもほとんど走行していない方が多い</li> <li>・真野川親水サイクリングロードについては、景観や見通しが良く、交通量も少ない平坦なコースのため、サイクリング初心者には好評</li> <li>・地域内に自転車を活用した取組みを行う団体が存在しない</li> <li>・真野川親水サイクリングロードは福島県広域サイクリングルート相双地域の一部を構成しており、真野川親水サイクリングロードと他地域のサイクリングルートが直結している</li> </ul>
健康づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・健康のため、自転車に週1回以上乗りたいという方が多いものの、用事がないから乗らないという現実の頻度には開きがある</li> <li>・保有している自転車のタイプはシティサイクルがほとんどであり、中長距離利用よりは日常利用や健康づくりが中心となっている</li> <li>・自動車免許取得後は車主体となり、自転車に乗らなくなった方や保有していない方も多い</li> </ul>
観光・地域振興	<ul style="list-style-type: none"> <li>・真野川親水サイクリングロード周辺には、サイクリストが飲食及び休憩所として利用できるセデツテかしまや景観の良い烏崎海浜公園などサイクリングとともに楽しめる施設がある</li> <li>・真野川親水サイクリングロード周辺には、セデツテかしまや烏崎海浜公園などサイクリングとともに楽しめる商業施設等がある</li> <li>・真野川親水サイクリングロードを走ってみたいという地域外サイクリストは、あまり多くない状況のため、遠くから来ても走ってみたいサイクリングロードと感じてもらうための拠点整備や情報発信が必要</li> <li>・真野川親水サイクリングロードの距離は約11kmであり、本格サイクリストにとっては短いコースであるため、真野川親水サイクリングロードを含めたサブコースの開発や福島県広域サイクリングルートとの連携が必要</li> </ul>
安全・安心の確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>・真野川親水サイクリングロードは福島県広域サイクリングルート相双地域の一部を構成しており、県広域サイクリングルートの規格と整合した矢羽根や標識等の整備が必要</li> <li>・コース中の横断が発生する箇所自動車との接触リスクが高いところがある</li> <li>・県道部分について、路側帯が狭い箇所がある</li> <li>・案内看板が小さく、視認性が低いところがある</li> <li>・コース上の矢羽根が充分整備されているとは言い難い</li> <li>・区内に自転車店が存在しないため、定期的な自転車の整備が困難である</li> <li>・自動車が入ってこないエリアがある（自転車歩行者のみ）</li> <li>・景観の良い川辺空間での快適な走行環境の提供には、コース沿いの草刈りなどの景観維持が必要</li> </ul>

これらの現状を分析し、課題を明らかにした上で施策を実施していくことが重要です。

## (6)課題と対応方針

アンケート調査結果、専門家による実地調査や試走会をもとにしたフィードバックより明らかとなった現状から明らかになった課題とそれを解決するための施策は以下のとおりです。

現状	課題	本計画における対応方針	施策No
<ul style="list-style-type: none"> <li>・（一般道部分）標識が分かりにくい/車との接触リスクが高い</li> <li>・（河川敷部分）雑草や歩行者との接触リスク</li> </ul>	<p>初心者でも安心して迷うことなく快適にサイクリングを楽しむ・ことが出来るサイクリングロード環境の整備が必要である</p>	<p>案内看板や周辺の整備による走行環境の充実</p>	<p>A-1</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・セッテかしま等、拠点となり得る施設が未整備</li> </ul>	<p>サイクリング拠点へのレンタサイクルやサイクリングロード周辺の店舗にサイクリストが安心して立ち寄ることの出来る設備の整備が必要である</p>	<p>拠点の整備や周辺スポットの受け入れ体制を強化</p>	<p>B-2</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・自転車活用に向けた推進体制が存在せず、実施主体が不明瞭</li> </ul>	<p>自転車を活用しているプレーヤーが点在しており、市として統一した取り組みを行っていない</p>	<p>市内事業者等と連携した事業の実施</p>	<p>B-3</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・自転車の保持率約8割と低くはないが、区内に自転車店が存在せず、安全な自転車の確保やメンテナンスが難しい</li> </ul>	<p>新車の購入はもちろん、すでに所有している自転車の定期メンテナンスが難しく、安全かつ快適に走るための整備が出来ていない</p>	<p>他地区の自転車店と連携した事業の実施</p>	<p>A-2</p>

現状	課題	本計画における対応方針	施策No
<ul style="list-style-type: none"> <li>・自転車を持たない市民や観光客が区内を楽しむためのレンタサイクルが存在しない</li> </ul>	<p>区内にレンタサイクルが無い ため、自転車を持たない 市民や観光客が真野川 親水サイクリングロードに 興味があったとしても楽し むことが難しい</p>	<p>レンタサイクルやシェアサイクルの 整備</p>	<p>B-1</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・自転車を持っているが、 車での移動が主となり、過去1年間自転 車に乗っていない人が 約半分を占める</li> </ul>	<p>自転車を所有しているもの の、きっかけが無いため 自転車に乗ることがない</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民が自転車に乗るきっかけ となるサイクリングイベントの 開催</li> <li>・自転車利用に係る 安全教育の充実</li> </ul>	<p>B-1</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・サイクリングロードの存在 は知っているものの、週 1回以上の利用頻度が 1割に満たない</li> </ul>	<p>真野川親水サイクリング ロードを認知しているもの の、きっかけが無いためサイ クリングロードを利用するこ とがない</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自転車利用に係る 安全教育の充実</li> </ul>	<p>A-4</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・福島県内からもサイクリ ングロードの認知が3割 未満である</li> </ul>	<p>他のサイクリングロードと比 べ、県内外いずれも認知 が低い</p>	<p>福島県内や近隣地域の サイクリストへの情報発信</p>	<p>C-1</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・サイクリングロードとしての 認知をしている人も、 走行した経験/頻度は 低い</li> </ul>	<p>真野川親水サイクリング ロードを認知している人で あっても、きっかけが無い ためサイクリングロードを利用 することがない</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・福島県広域サイクリング ルートとの連携</li> <li>・地域外から誘客を目的とした サイクリングイベントの開催</li> </ul>	<p>C-2 C-3</p>

## (7)真野川親水サイクリングロードが目指すべきゴール

現状から明らかになった課題を解決するための施策を通じ、真野川親水サイクリングロードが目指すべき方向性は以下のとおりです。

### 【コンセプト（再掲）】

# まのサイ

## 誰でも楽しく安全に走れるサイクリングロード

A：安心・安全な“まのサイ”

B：“まのサイ”で地域を元気に

C：“まのサイ”をたくさんの人に

### 【数値目標】

#### A：安心・安全な“まのサイ”

計画の目標	現状値（R5）	目標値（R10）
鹿島区内の年間自転車事故発生数 （過去3年の平均）	4件/年	0件/年

#### B：“まのサイ”で地域を元気に

計画の目標	現状値（R5）	目標値（R10）
サイクルイベントを開催する団体数	0団体	2団体
月1回以上自転車を利用する市民の割合	55.7%	75%
サイクルラックの設置施設	0箇所	10箇所

#### C：“まのサイ”をたくさんの人に

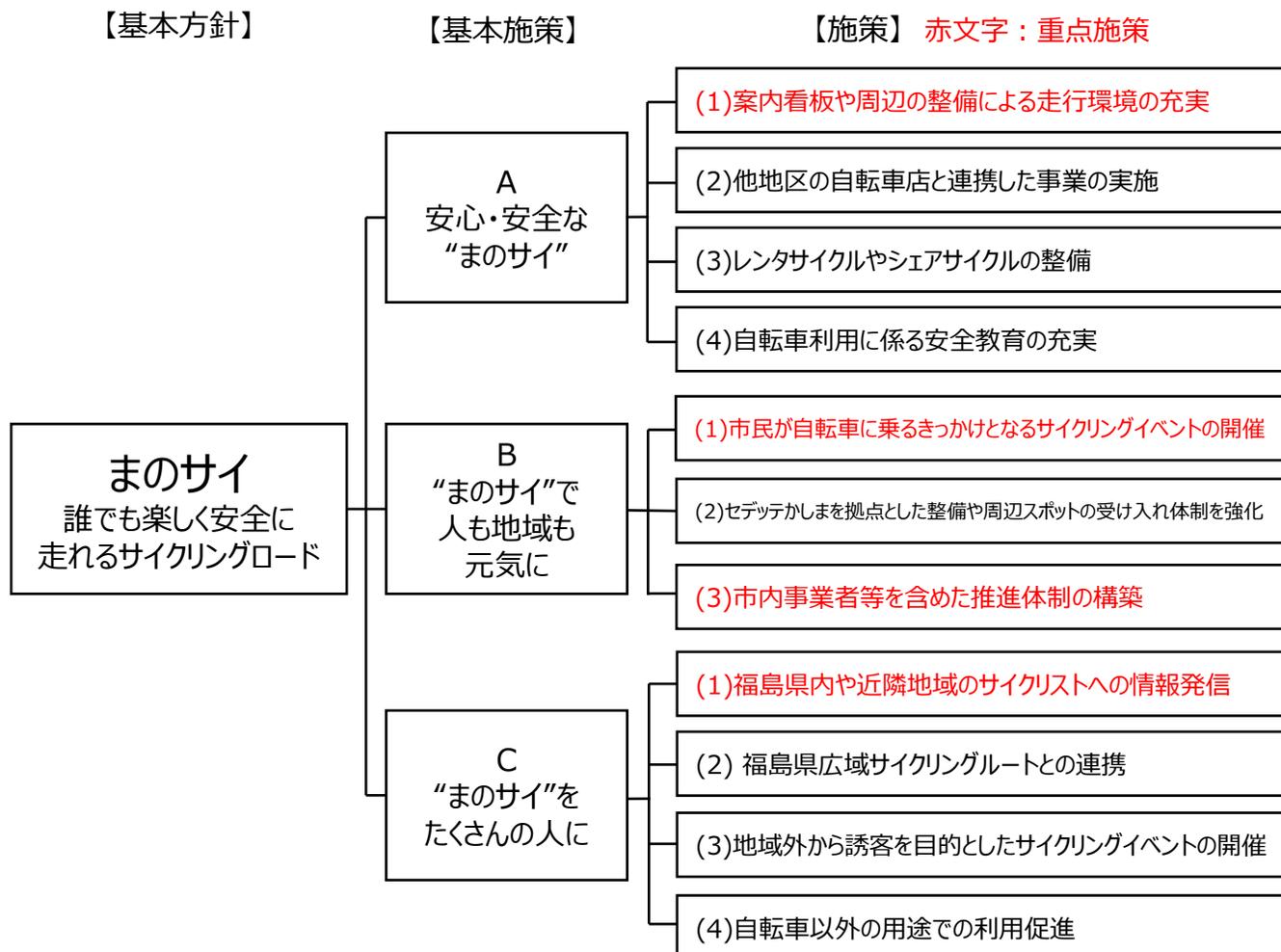
計画の目標	現状値（R5）	目標値（R10）
真野川親水サイクリングロード年間利用者数	7,000人(推計)	18,000人

# 3 施策の展開

## (1) 施策体系

現状から整理した課題と対応方針に基づき、基本施策と施策を以下の通り整理しました。

これらの施策を実施することで、前項で明らかとなった現状やその課題を改善していくことが重要だと考えます。

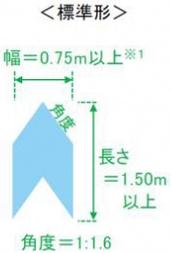


### ▼重点施策（抜粋）

No.	施策名	実施すべき内容
A-1	案内看板や周辺の整備による走行環境の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>案内看板や矢羽根等の整備</li> <li>河川敷の草刈りや環境整備</li> </ul>
B-1	市民が自転車に乗るきっかけとなるサイクリングイベントの開催	<ul style="list-style-type: none"> <li>試走会やサイクリングツアーなど、市民が自転車に乗ることで自転車の楽しさを感じることが出来るイベント開催</li> </ul>
B-2	セデッテかしまを拠点とした整備や周辺スポットの受け入れ体制を強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>セデッテかしまを拠点としたレンタサイクル等の整備を行う</li> <li>地域の店舗にサイクルラック等の整備を行う</li> </ul>
B-3	市内事業者等を含めた推進体制の構築	<ul style="list-style-type: none"> <li>スポーツ協会やサイクリングクラブ等、地域の事業者や団体を巻き込んだ形での推進体制の設立</li> </ul>
C-1	福島県内や近隣地域のサイクリストへの情報発信	<ul style="list-style-type: none"> <li>制作したチラシ等を近隣のサイクリストへ配布</li> <li>ターゲットを明確にした上で、効果的なWEBプロモーションを行う</li> </ul>

## (2) 施策の概要

### 基本施策A 安心・安全な“まのサイ”

<p>施策名</p>	<p>(1)案内看板や周辺の整備による走行環境の充実 <span style="float: right; background-color: red; color: white; padding: 2px 5px; font-weight: bold;">重点</span></p>
<p>施策内容</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水辺空間のいやしの提供や平坦で見通しの良い初心者向けコースとしての魅力の向上を図る</li> <li>・サイクリングロード全体における矢羽根の整備を行う →矢羽根の整備にあたっては、「福島県広域サイクリングルート」と整合した内容での整備が望ましい</li> <li>・真野川親水サイクリングロードを構成する一般道を中心に、自転車及び自動車への注意喚起看板を充実させる</li> <li>・地域住民と協力した草刈りやゴミ拾い等を通じ、快適な走行環境を維持するように務める</li> </ul>
<p>参考事例</p>	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-start;"> <div style="text-align: center;">  <p>&lt;標準形&gt; 幅=0.75m以上※1 長さ=1.50m以上 角度=1:1.6</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>幅寄せ注意 CAUTION SIDESWIPING 自転車横断注意 BICYCLE CROSSING</p> </div> </div> <p>矢羽根表示の例 出典：福島県自転車活用推進計画 (R5年3月改訂)</p> <p>自動車への注意喚起看板の例 出典：水郷筑波サイクリング環境整備事業・自転車通行環境整備ガイドライン (R4年9月改訂)</p> <div style="display: flex; justify-content: center; margin-top: 20px;">   </div> <p>民間団体におけるサイクリングの草刈り活動 出典：NPO法人アトム</p>

<p>施策名</p>	<p>(2)他地区の自転車店と連携した事業の実施</p>
<p>施策内容</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・原町地区にある自転車店へ、出張修理などの打診や費用補助を行う</li> <li>・市内自転車店による、簡易的な自転車メンテナンス講座等の実施</li> </ul>
<p>参考事例</p>	<div data-bbox="332 524 801 839">  </div> <p>自転車店における出張修理サービス</p> <p>■サービス概要</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・修理料金＋出張料金がかかることが一般的 →地域によるが、1,000-2,000円が相場</li> <li>・店舗によっては代車サービスもある</li> <li>・その場で修理するサービス、一度店舗に持ち帰るサービスなど様々な形態がある</li> </ul> <div data-bbox="332 963 811 1286">  </div> <p>【参考】 ドクターペダル（東京都品川区）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・東京都を中心に、年間2万件以上の自転車出張修理を実施している</li> <li>・シェアサイクルや企業所有自転車の定期点検のみならず、一般向けの緊急時対応も実施</li> </ul> <div data-bbox="332 1431 801 1742">  </div> <p>自転車の修理体験講座（大阪府豊中市）</p> <p>地元自転車店の店主を招き、「自転車を購入するときのポイント」や「手入れ方法」について学ぶことが出来る講座を開催。</p>

<p>施策名</p>	<p>(3) レンタサイクルやシェアサイクルの整備</p>
<p>施策内容</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会実験等により設備や仕組み、形態を検討し、適切な方式でのレンタサイクルやシェアサイクルの導入を目指す</li> <li>・鉄道駅や観光施設等への駐輪設備を充実させる</li> </ul>
<p>参考事例</p>	<div data-bbox="341 555 758 866" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="776 609 1236 866" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="344 886 689 965" data-label="Caption"> <p>まちなかシェアサイクル「みとチャリ」 (茨城県水戸市)</p> </div> <div data-bbox="341 1006 758 1286" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="791 1006 1183 1286" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="354 1315 848 1396" data-label="Caption"> <p>チャリチャリ (福岡県を中心に九州地方、東京都に展開)</p> </div> <div data-bbox="341 1487 822 1783" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="339 1792 803 1829" data-label="Caption"> <p>駅前駐輪場の整備 (神奈川県相模原市)</p> </div> <div data-bbox="856 1487 1249 1783" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="869 1792 1182 1877" data-label="Caption"> <p>道の駅へのサイクルラック設置 (茨城県日立市)</p> </div>

<p>施策名</p>	<p>(4)自転車利用に係る安全教育の充実</p>
<p>施策内容</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小中学校を中心とし、交通安全教室の充実を図ることで自転車の交通ルールやマナーの啓発に努めます。</li> <li>・学校や警察、地域住民等と連携して、真野川親水サイクリングロード周辺での通行指導を実施します。</li> <li>・市の広報誌やPR媒体を通じて自転車の交通ルールやマナーを発信します。</li> </ul>
<p>参考事例</p>	<div data-bbox="358 596 1229 907"> </div> <p data-bbox="482 934 1119 965">中学生向け自転車交通安全教室の開催（福岡県宗像市）</p> <div data-bbox="358 990 921 1290"> </div> <p data-bbox="379 1307 851 1384">自転車プロチームと警察が連携した通行指導（栃木県宇都宮市）</p> <div data-bbox="358 1417 976 1846"> </div> <p data-bbox="379 1860 736 1937">広報誌による自転車のマナー啓発（大阪府大阪市城東区）</p>

## 基本施策B “まのサイ”で地域活性化

<p>施策名</p>	<p>(1)市民が自転車に乗るきっかけとなるサイクリングイベントの開催</p>	<p>重点</p>
<p>施策内容</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民が自転車に乗るきっかけを創出するためのイベントを開催する →イベントに参加することでインセンティブが付与出来るような内容とする →イベントの形態については、本格的なサイクリストをターゲットとするものではなく、普段自転車の乗らないような人でも楽しむためのものとする</li> <li>・定期的な運動習慣の定着に向けたサイクリングセミナーの開催</li> <li>・サイクリングイベント参加者への参加者の声の紹介による利用促進</li> </ul>	
<p>参考事例</p>	<div data-bbox="354 696 1039 1040" style="text-align: center;"> </div> <p style="text-align: center;">チャリPay（茨城県かすみがうら市）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自転車で走り、たくさんのスポットにチェックインすることで獲得したポイントを地域産品と交換出来るイベント</li> <li>・インセンティブのみならず、地域再発見としての魅力も評価されている</li> </ul> <div data-bbox="368 1297 1011 1786" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p style="text-align: center;"><b>ツール・ド・常北（新コース）</b></p> <p>本校の学校行事のメインである「ツール・ド・常北」が実施されました。開会式では、城里町の上達野修町長及び高岡秀夫教育長のご臨席を賜りました。今年度は、新型コロナウイルス感染症予防対策の観点から、保護者の方々の協力を求めずに実施できるよう、コースを変更しました。新コースは、「城里町城内の日立笠間線～国道123号沿いの旧桂村城内農道～道の駅「かつら」～県道21号常陸大宮市内～水戸北部中核工業団地内の西部総合公園～大桂大橋～高根地区の阿波山徳蔵線～日本自動車研究所城里テストセンター～小坂地区の日立笠間線～城里町立常北小学校」を経由して学校に戻る、全長約35kmの高低差の大きい自然豊かなコースです。無事に全行程の走行を終えた生徒たちは、学校に戻り地元城里地区で出荷されている焼き手を口いっぱい美味しくそうにほおぼり、自転車走行の疲れを感じて下校しました。</p> </div> <p style="text-align: center;">ツール・ド・常北（茨城県城里町）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・茨城県立水戸桜ノ牧高校城北校で行われている学校行事。 2023年で30回を迎える歴史ある行事。</li> <li>・生徒が持ち寄った自転車で、35kmコースの完走を目指す。</li> </ul>	

<p>施策名</p>	<p>(2)セデッテかしまを拠点としたサービスの整備や周辺スポットの受け入れ体制を強化</p>	
<p>施策内容</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鹿島区における玄関口ともいえる「セデッテかしま」を拠点としたレンタサイクルやサイクリスト向けサービス整備を行う</li> <li>・真野川親水サイクリングロード周辺のある立ち寄りスポットへサイクルラックや空気入れの配布や設置を行う</li> <li>・地域でサイクリストの受け入れに関心がある事業者等を対象としたおもてなしセミナーを開催する</li> </ul>	
<p>参考事例</p>	<div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p style="text-align: center;">りんりんポート土浦（茨城県土浦市）</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p style="text-align: center;">サイクルサポートステーション（茨城県全域）</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: flex-end;">  <div data-bbox="793 1694 1165 1777"> <p>サイクリストおもてなしセミナーの開催 （福島県いわき市）</p> </div> </div>	

施策名	(3)市内事業者等を含めた推進体制の構築 <span style="float: right; background-color: red; color: white; padding: 2px 5px;">重点</span>
施策内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・南相馬市鹿島区、市内観光事業者、自転車関連事業者、スポーツ関連団体、PTAなどを構成員とした推進体制を構築する</li> <li>・立ち上げた推進体制を中心とした自転車関連事業の継続的な推進を図る</li> <li>・自転車を活用した取り組みを行う団体の育成 →特にシニア層の運動手段としての定着を目指すための取り組み 例) スポーツクラブ (シニア層の生きがいづくり、そのツールとしての自転車)</li> </ul>
参考事例	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;">  <p style="text-align: center;">つば霞ヶ浦りんりんロード利活用推進協議会 (茨城県県南地域14市町村)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 主な構成員 茨城県/沿線自治体/国/一般企業/関係団体等 約120団体 会長：茨城県知事 大井川和彦</li> <li>■ 主な事業内容 <ul style="list-style-type: none"> <li>・広報・宣伝事業 (つば霞ヶ浦りんりんロードの情報発信等)</li> <li>・誘客促進活動事業 (新規ツアー造成支援等)</li> <li>・走行・回遊環境等の整備に係る連絡・調整 (路面標示等の整備促進等)</li> <li>・広域レンタサイクル事業</li> </ul> </li> </ul> </div> <div style="width: 45%;">  </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;"> <div style="width: 45%;">  </div> <div style="width: 45%;">  </div> </div> <p style="text-align: center; margin-top: 10px;">ヨークカルチャーセンター奈良店 (奈良県奈良市)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・カルチャーセンター会員を対象に6ヶ月のサイクリング講座を実施</li> <li>・乗り方から交通ルールを実践を交えてレクチャーし、サイクリングや健康に関心がある市民の受け皿となった</li> </ul>

## 基本施策C “まのサイ”で交流人口拡大

<p>施策名</p>	<p>(1)福島県内や近隣地域のサイクリストへの情報発信 <span style="background-color: red; color: white; padding: 2px 5px; font-weight: bold;">重点</span></p>
<p>施策内容</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・南相馬市近隣地域でスポーツバイクを取り扱うサイクルショップや、多くのサイクリストが集うスポットへチラシやパンフレットによる情報発信を行う</li> <li>・多くのサイクリストが目にするWEB情報媒体への発信を行う             <ul style="list-style-type: none"> <li>→効果的な情報発信のため、自転車メディアのみならず、多くのサイクリストを抱えるプラットフォームの比較検討を行う</li> <li>→発信数のみならず、メディアが抱える会員の属性（居住地等）を参考に比較検討を行う</li> </ul> </li> <li>・サイクリングイベント参加者への参加者の声の紹介による利用促進</li> </ul>
<p>参考事例</p>	<div style="text-align: center;">  <p>自転車店へのサイクリングMAPの設置</p> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-start;"> <div data-bbox="358 1348 668 1852" style="width: 30%;">  </div> <div data-bbox="672 1348 958 1852" style="width: 30%;">  </div> <div data-bbox="976 1348 1279 1852" style="width: 30%;">  </div> </div> <p style="text-align: center;">メールマガジンやSNSを通じた情報発信</p>

施策名	(2)福島県広域サイクリングルートとの連携
施策内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・福島県広域サイクリングルートの一部を構成する真野川親水サイクリングロードとしての情報発信を行う</li> <li>→南相馬市のみならず、福島県の広報を活用しての情報発信</li> <li>→福島県広域サイクリングルートの認知が高まれば高まるほど、真野川親水サイクリングロードの認知にも繋がる</li> </ul>

### ※参考：福島県広域サイクリングルートについて

県内の美しい自然環境や豊かな観光資源を活かしたサイクリングルートを7つの地域ごとに設定したもの。

→県北地域/県中地域/県南地域/会津地域/南会津地域/相双地域/いわき地域



### ■ 鹿島地区を走る福島県広域サイクリングルートの特徴

- ・県道74号線～セデッテかしま区間は南相馬市で指定された真野川親水サイクリングロードと重複する区間である。
- ・セデッテかしまを広域サイクリングルート内でも「ゲートウェイ」として定められており、拠点としての活用が期待される。
- ・真野川親水サイクリングロードの両端から、県道74号線を走るルートと飯舘村まで続くルートへ直通が可能である。

<p>施策名</p>	<p>(3)地域外から誘客を目的としたサイクリングイベントの開催</p>
<p>施策内容</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域外のサイクリング愛好家が真野川親水サイクリングロードを訪れたいくなるようなサイクリングイベントを開催する</li> <li>→1Day型のみならず、期間型での開催も検討する</li> <li>→タイム計測のあるレース形式よりは、より裾野が広い多くの層が参加出来るイベント形式のほうが望ましい</li> <li>→真野川親水サイクリングロード周辺エリアならではの地域資源と組み合わせたイベントを開催することで、効果的な誘客を行う</li> </ul>
<p>参考事例</p>	<div data-bbox="351 721 962 1131" data-label="Image"> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自転車で土浦市内のカレー店舗を巡り、食べれば食べるほどポイントを獲得することが出来る</li> <li>・獲得したポイントをカレーフェスティバル当日にクーポン券として利用可能</li> <li>・全スポット制覇で、オリジナルデザインのサイクルジャージを獲得できる</li> </ul> <div data-bbox="351 1355 1119 1686" data-label="Image"> </div> <p>つくば霞ヶ浦りんりんサイクリング（主催：茨城県地域振興課）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・初心者優しいつくば霞ヶ浦りんりんロードの特性を活かし、ビギナーを対象としたサイクリングイベントを開催した</li> </ul>

<p>施策名</p>	<p>(4) 自転車以外の用途での利用促進</p>
<p>施策内容</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・真野川親水サイクリングロードの活用方法について、自転車以外に、ランニングやウォーキングといった用途での利用を促進する</li> <li>→ランニングやウォーキングでの活用について、検討する</li> <li>→自転車利用者との共存（シェア・ザ・ロード）について、安全性に留意する</li> <li>→小学校等のマラソン大会を開催するような呼びかけを行う</li> </ul>
<p>参考事例</p>	<div data-bbox="394 596 1031 990" data-label="Image"> </div> <p data-bbox="396 1031 604 1065">月例湘南マラソン</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月1回、湘南海岸の自転車道をコースとして開催されるランニングイベント。参加費も1,000円であり、地元民の体力だめしの場として、過去500回以上開催されている。1回あたりの参加者は200-300名程度。</li> </ul> <div data-bbox="382 1230 1196 1591" data-label="Complex-Block"> <p style="text-align: center;">稲城市 </p> <p>多摩川サイクリングコースの進行ルールについて <span style="float: right;">最終更新日:2023年3月13日</span></p> <p><b>歴史について</b></p> <p>多摩川サイクリングコースは、昭和45年に健康維持増進や住民相互のコミュニケーションの場を設けるため、国土交通省より河川法に基づく占用許可を受け、堤防上に歩行者自転車専用道路として整備を開始し、平成30年3月には、多摩川原橋周辺の整備工事が完了し、稲政橋から川崎市との境までの約4キロメートルの区間が通行できるようになり、川崎市の「かわさき多摩川ふれあいロード」と接続しています。</p> <p><b>多摩川サイクリングコースは歩行者自転車専用道路です。</b></p> <p>歩行者と自転車の専用道路のため、自動車やバイクは通行することができません。  <small>注釈：バトロー用バイクなどの関係車両や維持管理作業のため許可を受けた車両は除きます。</small></p> <p><b>歩行者も自転車も左側通行をお願いします。</b></p> <p>多摩川サイクリングコースの幅員は、約2.5メートルと狭いため、<b>歩行者も自転車も左側通行</b>をお願いします。</p>  </div> <p data-bbox="396 1638 682 1672">多摩川サイクリングコース</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・沿線の稲城市のWEBサイトには、多摩川サイクリングコースは歩行者自転車専用道路であり、歩行者優先となっている記載がある。</li> </ul>

## 4 今後の進め方

真野川親水サイクリングロード利活用推進計画の策定後、課題等を整理し、事業を行います。

### (1)スケジュール

以下のスケジュールで事業に取り組みます。なお、具体的な内容については、関係機関と連携し、継続的に取り組みます。（赤字は重点施策）

実施施策		令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)	令和8年度 (2026年度)	令和9年度 (2027年度)	令和10年度 (2028年度)
安心・安全な “まのサイ”	(1)案内看板や河川敷の整備による走行環境の充実	継続的な走行環境の整備				
	(2)他地区の自転車店と連携した事業の実施	自転車店との連携事業				
	(3)レンタサイクルやシェアサイクルの整備	サービスの検討・比較	サービスの運用			
	(4)自転車利用に係る安全教育の充実	安全教育の実施				
“まのサイ”で 地域活性化	(1)市民が自転車に乗るきっかけとなるサイクリングイベントの開催	サイクリングイベントの実施				
	(2)拠点の整備や周辺スポットの受け入れ体制を強化	受け入れ体制の強化				
	(3)市内事業者等を含めた推進体制の構築	体制の構築	体制の運用・事業実施			
“まのサイ”で 交流人口拡大	(1)福島県内や近隣地域のサイクリストへの情報発信	情報発信				
	(2)福島県広域サイクリングルートとの連携	連携及び情報発信				
	(3)域外から誘客を目的としたサイクリングイベントの開催	サイクリングイベントの実施				

### (2)推進体制

施策②-2に表記されている推進体制による事業実施を押し進めます。

また、その推進体制の構築にあたっては、「真野川親水サイクリングロード利活用推進検討会」の参加メンバーを中心に構成し、継続的な事業推進を行います。



## (2)先進地事例（シェアサイクル事業）

エリア	シェアサイクル事例		
	担当部署	施策	具体的な内容
東京都小平市	産業振興課観光まちづくり	シェアサイクルポート	地域センター等の公共施設に設置。市内の魅力スポットを自転車で巡り新たな発見をしてもらうことが狙い
調布市	都市整備部交通対策課	シェアサイクル事業	市民や来街者への利便性、回遊性向上を図るため、市内の駅周辺の駐輪場をはじめコンビニエンスストアなどのサイクルステーションを活用し、電動アシストサイクル事業を行う。
国分寺市	政策部市政戦略室 まちの魅力企画	シェアサイクル事業	ステーション間で片道利用できる自転車サービス。観光や市内の回遊性の向上近隣市との乗り入れ、駐車場の混雑緩和、災害時の移動手段としての効果を期待。
埼玉県川越市	都市計画部交通政策課	シェアサイクル事業	市の中心市街にステーションを設置。公共交通の機能を補完し、中心市街地における移動手段の役割を担うとともに中心市街地の活性化や観光の振興に寄与することを目的としている
大阪府堺市	建設局サイクルシティ推進部 自転車企画推進課	シェアサイクル事業	一般企業と協定を締結し、サイクルポートの拡充や市内のサイクルポート間の密度を高めるなど、さらなる海遊の向上を目指す。自転車を環境にやさしく、健康にいい乗り物として利用を促進し市内の地域資源を活用し、自転車でいき期と楽しめる機会を設け、交通ルールの尊守とマナーの向上、安全なまちづくりを市民と共同して推進する
新潟県南魚沼市	教育委員会生涯スポーツ課	サポートレンタルサイクルサービス	市民の自転車利用促進を図るとともに、市民と自転車と健康づくりの持続可能な共生社会の実現を目的とする。
長野県飯田市	ゼロカーボンシティ推進課 気候変動対策係	自転車市民共同利用システム	電動アシスト付き自転車、クロスバイク、マウンテンバイクの貸出を行う。飯田市民のみ作成できるレンタサイクル利用証があり、市民であれば身分証を提示して、誰でも作成可能。
神奈川県横浜市	道路局総務部交通安全 自転車政策課	広域シェアサイクル事業社会実験	地域の移動手段としての自転車の役割の拡大や自転車通勤のさらなる普及を見据え、公共交通の機能保管などを目的とした横浜市広域でのシェアサイクルの社会実験を実施。市内利用の移動回数の増加により、地域の活性化に貢献し、マイカー移動からの転換による環境負荷を軽減し、脱炭素社会の形成推進を期待。
富山県富山市	環境部環境政策課	自転車市民共同利用システム	環境モデル都市として「公共交通を軸としたコンパクトな街づくりによるCO2排出量の大幅な削減を目指している。同時に中心市街の活性化や回遊性の強化を図ることを目的としている。

## (3)先進地事例（高速道路サービスエリアと連携した自転車施設）

エリア	高速SAの自転車PAとしての活用事例		
	事業者	施策	具体的な内容
静岡県	NEXCO中日本	NEOPASA静岡	新東名高速道路の静岡サービスエリア上り戦に併設されて開業。サイクリスト専用駐車場を備えた「自転車の駅」はNEXCO中日本の休憩施設で初めてのオープン。一般道からアクセスできる側に5台分の駐車場、工具や空気入れの貸出サービスのあるステーションを併設。（レストランやコインシャワーの使用可能）
	NEXCO中日本	EXPASA浜名湖	原付・自転車ツーリングでも利用可能。一般道からの入場可能。
神奈川県	江ノ島電鉄	EXPASA海老名	江ノ電が開関する自転車シェアリング「SHONAN PEDAL」のステーションを東名高速道路海老名サービスエリア内に開設。一般道から専用の入り口でアクセス可能。
愛媛県	本四高速グループ	来島海峡SA サイクルオアシス コミュニティゲート	地域やサイクリストがSA・PAをより気軽に利用でき、地域との交流の場として親んでもらえるよう、新たなゲート（「コミュニティゲート」）をオープン。コミュニティゲートのオープンとティゲート」をオープン。コミュニティゲートのオープンと併せて、サイクルオアシスを整備。一般道からの入場可能。SA内の自転車の侵入は禁止。
広島県	本四高速グループ	大浜PA	「しまなみ海道」にあるパーキングエリア。上下線のパーキングエリア同士が歩道橋でつながる構造をしており歩いてどちらの施設も利用可能。
富山県	中日本エクス株式会社	有磯海SA	ぷらっとパーク

## (4)先進地事例（サイクリングロードを活用したイベント）

市町村	他地域の市民の自転車活用やツーリズム事例等		
	担当部署	施策	具体的な内容
福島県いわき市	土木部土木科道路計画係	復興サイクリングロード	「いわき七浜海道」を軸とした総距離約53kmのサイクリングロードe-bikeを含むレンタサイクルを行っている施設が11か所と、市全域でサイクリスト歓迎な設備を整えている「いわき新舞子ハイツ」の拠点化など
福島県猪苗代エリア	県中建設事務所企画調査課	サイクリングロード	猪苗代湖に沿って走る約3.6kmのサイクリングロード。レンタサイクルの貸し出しもあり。観光協会がサイクリングマップを作成し、お店情報なども記載している。
福島県南会津エリア	南会津サイクルツーリズム協議会	サイクルステーションの設置	サイクルステーションを各地に設置。サイクルスタンドやゲージ付き空気入れなども設置している。サイクルロゲイニングなども開催し、地域を楽しんでもらうイベントも開催している。
	福島県南会津地方振興局	みなみあいづサイクリング魅力発信事業	サイクルロゲイニングやサイクルスタンプラリーを開催。期間中、好きな時に個人もしくはチームでチェックポイントを巡るスタンプラリー。獲得したポイント数をベースに抽選で南会津の特産品を獲得できる。
宮城県多賀城市	多賀城創建1300年記念事業実行委員会	ライドアラウンドin多賀城 with七ヶ浜 ~多賀城創建1300年724-2024年~	地元ならではのグルメと歴史文化が溢れる多賀城・七ヶ浜を舞台に遊ぶGPS機能を利用したサイクリングアクティビティ。自転車で街を巡ってスポットを訪れたり、グルメを楽しむことで獲得したポイント数を競う。市町もPR動画への出演や実際にライドアラウンドに参加し、イベントを盛り上げた。
東京都小平市	産業振興課観光まちづくり	シェアサイクルポート	地域センター等の公共施設に設置。市内の魅力スポットを自転車で巡り新たな発見をしてもらうことが狙い
調布市	都市整備部 交通対策課	シェアサイクル事業	市民や来街者への利便性、回遊性向上を図るため、市内の駅周辺の駐輪場をはじめコンビニエンスストアなどのサイクルステーションを活用し、電動アシストサイクル事業を行う。
国分寺市	政策部市政戦略室 まちの魅力企画	シェアサイクル事業	ステーション間で片道利用できる自転車サービス。観光や市内の回遊性の向上近隣市との乗り入れ、駐車場の混雑緩和、災害時の移動手段としての効果を期待。
埼玉県川越市	都市計画部交通政策課	シェアサイクル事業	市の中心市街にステーションを設置。公共交通の機能を補完し、中心市街地における移動手段の役割を担うとともに中心市街地の活性化や観光の振興に寄与することを目的としている。
大阪府堺市	建設局サイクルシティ推進部 自転車企画推進課	シェアサイクル事業	一般企業と協定を締結し、サイクルポートの拡充や市内のサイクルポート間の密度を高めるなど、さらなる海遊の向上を目指す。自転車を環境にやさしく、健康にいい乗り物として利用を促進し市内の地域資源を活用し、自転車でいき期と楽しめる機会を設け、交通ルールの尊守とマナーの向上、安全なまちづくりを市民と共同して推進する。
新潟県南魚沼市	教育委員会生涯スポーツ課	サポートレンタルサイクルサービス	市民の自転車利用促進を図るとともに、市民と自転車と健康づくりの持続可能な共生社会の実現を目的とする。
長野県飯田市	ゼロカーボンシティ推進課 気候変動対策係	自転車市民共同利用システム	電動アシスト付き自転車、クロスバイク、マウンテンバイクの貸出を行う。飯田市民のみ作成できるレンタサイクル利用証があり、市民であれば身分証を提示して、誰でも作成可能。
神奈川県横浜市	道路局総務部交通安全 自転車政策課	広域シェアサイクル事業 社会実験	地域の移動手段としての自転車の役割の拡大や自転車通勤のさらなる普及を見据え、公共交通の機能保管などを目的とした横浜市広域でのシェアサイクルの社会実験を実施。市内利用の移動回数の増加により、地域の活性化に貢献し、マイカー移動からの転換による環境負荷を軽減し、脱炭素社会の形成推進を期待。
富山県富山市	環境部環境政策課	自転車市民共同利用システム	環境モデル都市として「公共交通を軸としたコンパクトな街づくり」によるCO2排出量の大幅な削減を目指している。同時に中心市街の活性化や回遊性の強化を図ることを目的としている。
茨城県	県民生活環境部スポーツ推進課	いばらき自転車活用推進計画	「誰もが安全・快適に自転車を活用することができる地域社会の実現」を目指し、「サイクルツーリズム」、「道路空間整備」、「安全教育」、「健康増進」の4つの施策目標を設定し、今後取り組むべき実施施策や具体的措置。
		つくば霞ヶ浦りんりんロード 利活用推進協議会	官民連携組織である「つくば霞ヶ浦りんりんロード利活用推進協議会」では、「つくば霞ヶ浦りんりんロード」を核に、誰もが多様にサイクリングを楽しむことができる日本一のサイクリングエリアの形成を目指している。 ■主な事業内容 ・広報、宣伝事業（つくば霞ヶ浦りんりんロードの情報発信など） ・誘客促進活動事業（新規ツアー造成支援など） ・走行、回遊環境などの整備に係る連絡、調整（路面標示などの整備促進） ・広域レンタサイクル事業
	水戸桜ノ牧高等学校常北高	ツール・ド・常北	全長約35kmの高低差の大きい自然豊かなコースを高校生が自転車で走り、全行程終了後は、学校で地元城里地区で出荷されている焼き芋でお腹を満たすイベント。
	茨城県立明光中学校	校外学習	テーマは「茨城の宝探しへ～愛と勇気だけが友達さ～」。全長約20kmのコース。サポートライダーと一緒に霞ヶ浦湖畔沿いをサイクリング。各休憩スポットでは、サポートライダーから霞ヶ浦周辺の案内もあり。
山梨県南アルプス市	南アルプス市立櫛形北小学校	校外学習	3年生が総合交通センターに赴き、自転車教室に参加。近年の自転車の保険加入の義務付けなど、まだまだ自転車の運転技能に不安のある子供も多いため、道路で自転車に乗っていないのか、自転車ですどこまで行っているのか等、自転車に乗るルールについて家庭内での話し合いにもつながる体験をした。

## (5) 自転車に関係する交通事故の発生状況（南相馬警察署管内）

### 令和2年度～令和4年度 自転車人身事故・物件事故数

(件)

令和2年度	鹿島地区	原町区	小高区	合計
人身事故	0	8	0	8
物件事故	3	36	0	39
合計	3	44	0	47

(件)

令和3年度	鹿島地区	原町区	小高区	合計
人身事故	2	10	0	12
物件事故	6	48	1	55
合計	8	58	1	67

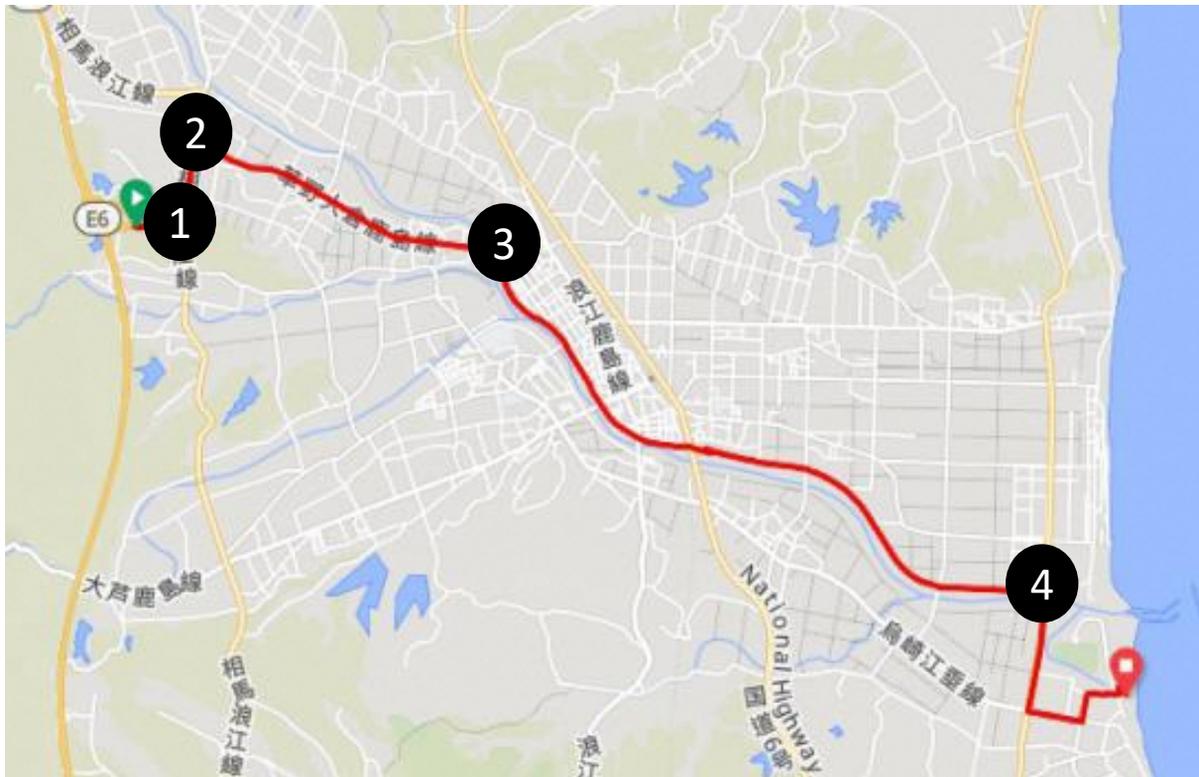
(件)

令和4年度	鹿島地区	原町区	小高区	合計
人身事故	0	8	0	8
物件事故	1	40	0	41
合計	1	48	0	49

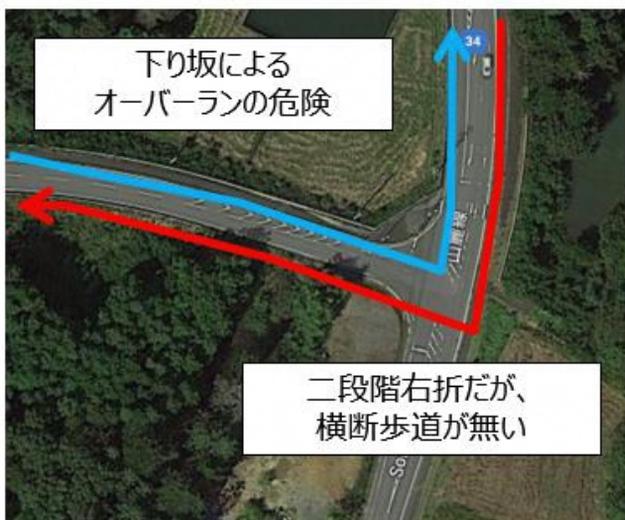
## (6) 実地調査

真野川親水サイクリングロードの現地調査の危険箇所を抽出した。

※調査者：一般社団法人ルーツ・スポーツ・ジャパン



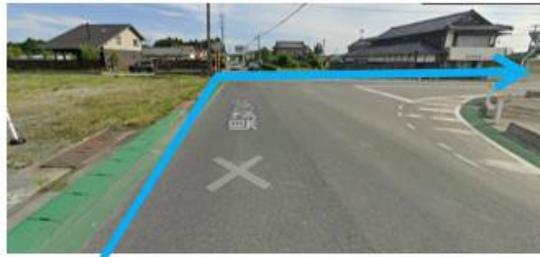
### ①セデツテかしま～県道34号線交差点



#### 【対策案】

- ・セデツテかしまから下ってくる坂道途中に「この先一時停止！減速！」といった看板を充実させる。
- ・交差点南側を渡るサイクリストがいる旨を伝える注意喚起看板の設置

## ② 県道34号線～県道268号線交差点



参考：二段階右折待機スペース

### 【対策案】

- ・右折用待機スペースの新設（右記写真参照）
- ・県道34号線の一部が路側帯がほぼ無く、自転車が逃げるスペースが無いため注意喚起の看板設置。（例：「幅寄せ注意！」など）

## ③ 県道268号線～真野川親水サイクリングロード入り口



### 【対策案】

- ・奥の横断歩道を渡るルートへの変更を検討（上図点線）
- ・右折時のルート案内看板が醜いため、目立つ位置に変更

#### ④ 県道74号線～真野川親水サイクリングロード入口



#### 【対策案】

- ・県道74号線が直線的であり、自動車の速度が速いことが予測されるため、自動車側への減速喚起看板を設置

また、全体を通して以下の点が課題として挙げられます。

#### ① ルート案内の看板設置位置



- ・既存の看板が一部右側にあり、左側を走行しているサイクリストにとって非常に見にくい位置にある
- サイクリストが走行している場所から見やすい位置への看板設置を行う。

- ・また、全体的に看板が小さいため、より目立つようなデザイン（サイズを大きくする、色味を派手にする）といった工夫を行うべきである。

#### ② 矢羽根の設置



参考：福島県市内の矢羽根

- ・真野川親水サイクリングロード内には一部設置されていたが、一般道にも同様の矢羽根を整備すべきである。
- 矢羽根を設置することで、自転車が道に迷っていないという安心感を与えるとともに、自動車が「自転車も走る道なのだ」という認識を与えることができる。
- 整備にあたっては、「福島県広域サイクリングルート」と統一した規格での整備が望ましい。

※福島県では、R6年度に県サイクリングルートの調査・調整、R7年度に優先度順に環境整備を実施予定（県道については、県と調整・要望済）

---

【制作・発行】

南相馬市鹿島区地域振興課

〒979-2392

福島県南相馬市鹿島区西町一丁目1

TEL : 0244-46-2110

FAX : 0244-46-5684